第５講　助動詞(1)

助動詞のポイント

【1】　各助動詞の核心をつかむ
【2】　助動詞 vs. 助動詞もどき（will と be going to の違いなど）

ポイント【0】　助動詞の基本

●助動詞には 2 つの意味がある

①動作系（動作動詞につく）	ex. can	①「できる」
②予想系（状態動詞{特に be}につく）		②「ありうる」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ポイント【１】　各助動詞の核心をつかむ

⑴ will と would

● will

①意志「～するつもり」
I'll call her tonight.「今夜は彼女に電話するぞ！」
②推量「～するはず」
The paint will be dry in half an hour.
「30 分もすればペンキは乾きますよ」
③習慣・習性・傾向「～する習慣・習性・傾向がある」
A drowning man will catch at a straw.
「溺れる者はワラをもつかむ」
④拒絶「（否定文で）絶対に～しない」
The window won't open.「どうしても窓が開かない」

will の実例　（結婚式で神父さんが問いかける場面）

神父：Will you take Hidetaro to be your husband?
新婦：I will.
神父：あなたはヒデタロウを夫とすることを誓いますか。
新婦：はい，誓います。

● would

①仮定法「～だろうに」
②婉曲「～だろう」　※ありえそうなことに使う
③過去の習慣「よく～したものだ」
I would often go to the park.「よく公園に行ったものだ」
※ would の後ろに often · sometimes がくる
④過去の拒絶「（否定文で）どうしても～しようとしなかった」
The door wouldn't open.「どうしてもドアは開かなかった」
⑤ will の過去形　※「時制の一致」で使われる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

■入試問題演習

1　⑴，⑶は空欄に入る最も適切なものを選びなさい。⑵は下線部の単語とほぼ同じ意味と用法を持つ英文を選びなさい。

⑴　He was a very stubborn person and（　　）not listen to me.

1. would　　2. could　　3. should　　4. might

⑵　From time to time he <u>would</u> go fishing in the river.

1. I thought that he <u>would</u> be free in a day or two.
2. Tom knocked at the door, but Mary <u>would</u> not let him in.
3. My grandfather <u>would</u> often watch television for hours.
4. <u>Would</u> you mind opening the window?

⑶　I remember that whenever my parents went out in the evening, I（　　）the job of looking after my younger sister.

1. must have got　　2. ought to get
3. have got　　4. would get

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

NOTE

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑵ shall と should

● shall

①強い決意　　※ will の強調／ 1 人称で使われる

I shall never forget your kindness.「ご恩は決して忘れません」

②提案

Shall I ～ ? ／ Shall we ～ ?「～しましょうか？」

Shall I open it?「それを開けましょうか？」

Shall we go for a drive?「ドライブ行きませんか？」

※ Let's ～ , shall we?「～しましょうか」

Let's have lunch here, shall we?「ここでランチにしましょうか？」

※ Shall I ～ ? ／ Shall we ～ ? は, 決まり文句として覚えているでしょうから, それで十分なのですが, 参考までに…　本来「～するのが運命でしょうか？」

→「（運命ならば）～しましょうか？」という「提案表現」になったんです。

③使役　　※現代英語ではほとんど使われない／ 2・3 人称で

You shall ～「（あなたに）～させましょう」

He shall ～「（彼に）～させましょう」

You shall have a watch.「時計を買ってあげよう」

He shall go there alone.「彼をひとりでそこへ行かせよう」

I shall return.

Douglas MacArthur

オレは必ず戻ってくる。

ダグラス・マッカーサー

Ask, and it shall be given you; seek, and you shall find;
knock, and it shall be opened unto you.

the New Testament

求めよ，さらば与えられん。探せよ，さらば見つからん。門をたたけ，さらば開かれん。

新約聖書

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

次の文は，日米修好通商条約の条文からの引用である。以下の史料を読み，次の問いに答えなさい。（史料は一部補訂した箇所がある）

Duties shall be paid, to the Government of Japan, on all goods landed in the Country, and on all Articles of Japanese production, that are exported as cargo, according to the Tariff hereunto appended.

問：この条文に記された不平等条項が撤廃されるのはいつか。

1.1894 年　2. 1899 年　3. 1902 年　4. 1911 年　5. 1919 年

（和訳）日本に輸入されるすべての品目，輸出されるすべての日本製品について，添付した関税率表に基づいて，関税が支払われるものとする。　※『日米修好通商条約　第４条』

ans. 4　※関税自主権が確立するのは 1911 年小村寿太郎外相による改正日米通商航海条約調印による。

● should

①義務・忠告「（当然）～すべき」　※「本当ならば」という仮定法のニュアンスが含まれている。

You should see the movie.「その映画を観るといいよ」

②推量「（当然）～のはずだ」　※「本来ならば」というニュアンスが含まれている。

It should be all right.「大丈夫のはずだ」

③仮定法「～だろうに」　※ 1 人称の主節で使う

④仮定法未来　※ if 節の中で

⑤仮定法現在　※提案・主張・要求などの「命令系統の動詞」と共に使う

⑥ shall の過去形（時制の一致）

⑶ may と might

● may

①許可「～してもよい」

You may go if you want to.「行きたいなら行ってよろしい」

May I go home?「帰宅してもよろしいでしょうか」

※ May［Can］I ～？「～してもよろしいですか？」

②推量「～かもしれない」

It may rain tomorrow.「明日は雨かもしれない」

★譲歩節の中で may が使われることもある

→「譲歩（なげやりな感じ）」と「may（50%の意味）」がすごく合うから

● might

①控えめな may（may ≒ might）「（ひょっとしたら）～かもしれない」

※ほとんど「推量」で使われる／ありえそうなことに使う

He might be sick.「もしかしたら彼は病気なのかもしれない」

②仮定法（過去・過去完了）「～だろうに」　※ありえないことに使う

③ may の過去形（時制の一致）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

■入試問題演習

2　空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

(1) Meiji students are expected to work with all their (　　).

1. would　　2. might　　3. could　　4. can

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑷ must

● must

①義務「～しなければならない」

※「～しなければいけない」ってプレッシャー。

I must go at once.「すぐに行かなければいけない」

You must not read this book.「この本読んじゃダメ」

②推定「～に違いない」　※「そう考えざるをえない」→「～に違いない」

She must be sick.「彼女は病気に違いない」

※推量の must（～に違いない）の否定は can’t（～のはずがない）になる。

must not「～してはいけない」は『禁止』表現になる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

■入試問題演習

3　(1)は下線部に最も近い意味を表すものを選びなさい。(2)は空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

(1)　I <u>have got to</u> turn in some papers next week.

1. must　　2. may　　3. shall　　4. could

(2)　The car broke down, and we (　　) a taxi.

1. must have gotten　　2. had got to get
3. had to get　　4. must get

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑸ can と could

● can

①可能「～できる」　He can run fast.「速く走ることができる」
②許可「～してもよい」　Can I come in?「入ってもいい？」
③依頼「～してくれませんか」
Can you help me with my homework?「宿題手伝ってくれない？」
④可能性「ありうる」
Accidents can happen.「事故は起こりうる」
(a) 疑問文で「～がありうるだろうか」
Can it be true?「それは本当だろうか？」　※強い疑いを示す
(b) 否定文で「～のはずがない」
He cannot be a musician.「彼がミュージシャンのはずがない」

● could

①仮定法「～だろうに」　※ありえないことに使う
②婉曲「(ひょっとしたら) ～することがありえる」
It couldn't be true.「それは本当のはずがない」
※ can の代用 (could ≒ can) ／ありえそうなことに使う
③can の過去形「～できた」
He could swim fast when he was young.「若いときは彼は速く泳げた」
※「やろうと思えばできた」という仮定法のニュアンスが入る
cf. was able to ～「実際にやってみてできた」
※否定はどのようなときでも couldn't で OK
※英作文では，どんな場合でも使える was able to を使うのが無難

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

■入試問題演習

4　空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

(1) Miki and her family（　　）out of town. I have called several times, but there is no answer.

1. could go　　2. must be
3. should go　　4. would be

(2) A: I heard Ikeda died suddenly.
B: That（　）. I saw him yesterday.

1. can't be　　2. must be　　3. may be　　4. won't be

(3) Dorothy isn't in the office; she（　　）coffee in the cafeteria.

1. can be having　　2. can have
3. might be having　　4. might have

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ポイント【2】 助動詞 vs. 助動詞もどき（will と be going to の違いなど）

従来の英文法

would は「would は過去と現在の対比ができない／不規則な行為に用いる」
used to は「used to は過去と現在の対比ができる／常習的な行為に用いる」

● would vs. used to ～

	would（主観）	used to（客観）
過去の「習慣」	○（不規則な習慣）	○（規則的な習慣）
過去の「状態」	×	○
過去と現在の「対比」	×	○

●助動詞 vs. 助動詞もどき

意味	助動詞（主観）	助動詞もどき（客観）
～しなければならない	must	have to
これから～する	will	be going to
よく～した	would	used to

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【参考】used を使った表現のまとめ

① used to 原形　　☆２つの意味をチェック !!

(a)「よく～したものだ」　※ used to ＋ 動作動詞
I used to drink coffee in the morning.「朝はよくコーヒーを飲んだ」
※ used to ～ は過去の何度も繰り返した習慣を指すので，「具体的な回数・期間」を示す語句とは使えない（many times・many years という漠然としたものなら OK）。

(b)「昔は～であった」　※ used to ＋ 状態動詞
There used to be a big tree here.「以前はここに大きな木があった」

② be used to ～ ing　「～するのに慣れている」

He is used to getting up early.　彼は早起きに慣れている。
※ to の後は -ing がくる（この to は前置詞）。

③ be used to 原形　「するために使われる」

This is used to cut paper.　これは紙を切るために使われます。
※ be used（to 原形）　be used は普通の受動態／ to ～ は不定詞（副詞的用法）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

■入試問題演習

1　次の問いに答えなさい。

⑴　空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

Sam（　）TV every night.

1. used to watching　　2. was used to watch

3. used to watch　　4. was using to watching

⑵　空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

There（　）a castle on the hill.

1. used to be　　2. used to being

3. was used to be　　4. was used to being

⑶　各英文の内容が合うように，空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

Professor Saito is a medical doctor, although he used to be a chemical engineer.

= Professor Saito（　）

1. now teaches engineering.

2. changed his profession.

3. consulted two experts.

4. is used to engineers.

⑷　次の英文の下線部を修正せずに日本語の意味を表すことができるものについては○を，修正が必要なものについては×を書きなさい。さらに，修正が必要なものについて，下線部を書き換える候補として最も適切なものを選びなさい。

(a)「子どもの頃はお菓子が好きでした。」

When I was a child, I <u>would</u> like sweets.

1. used to　　2. could　　3. should

(b)（予期せず電話の呼び出し音が鳴ったとき，同室の人に向かって）「私が出ましょう。」

<u>I'm going to</u> answer it.

1. I'll　　2. I used to　　3. I need

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

■復習テスト

⑴～⑷は空欄に入る最も適切なものを選びなさい。⑸は各英文の内容が合うように，空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

⑴ I remember that whenever my parents went out in the evening, I (　　) the job of looking after my younger sister.

1. must have got　　2. ought to get
3. have got　　4. would get

⑵ The car broke down, and we (　　) a taxi.

1. must have gotten　　2. had got to get
3. had to get　　4. must get

⑶ Dorothy isn't in the office; she (　　) coffee in the cafeteria.

1. can be having　　2. can have
3. might be having　　4. might have

⑷ There (　　) a castle on the hill.

1. used to be　　2. used to being
3. was used to be　　4. was used to being

⑸ Professor Saito is a medical doctor, although he used to be a chemical engineer.

= Professor Saito (　　)

1. now teaches engineering.
2. changed his profession.
3. consulted two experts.
4. is used to engineers.

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第５講　助動詞(1)　解答

【１】

1

(1)　1

（和訳）彼はすごく頑固だったから，私の言うことを聞こうとしなかった。

(2)　3

（和訳）時折，彼は川に釣りに行ったものだった。

1. 1・2 日したら彼は自由の身となると私は思っていた。
2. トムはドアをノックしたが，メアリーはトムを中に入れようとしなかった。
3. 私の祖父はよく何時間もテレビを見ていたものだった。
4. 窓を開けてもよろしいかしら？

(3)　4

（和訳）両親が夕方出かけるときはいつでも，妹の面倒を見なければならなかったということを覚えている。

2

(1)　2

（和訳）明治の学生は全力で勉強することを期待されている。

3

(1)　1

（和訳）来週レポートをいくつか提出しなくてはいけない。

(2)　3

（和訳）車が故障して，私たちはタクシーを拾わなければならなかった。

4

(1)　2

（和訳）ミキと彼女の家族は町にいないに違いない。何度も電話したのだが，返事がないんだ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑵　1

（和訳）

A: イケダさんが急に亡くなったって聞いたのだけど。

B: そんなはずないわ。昨日彼を見たわよ。

⑶　3

（和訳）ドロシーはオフィスにいない。彼女は今頃カフェテリアでコーヒーを飲んでいるのかもしれない。

【2】

1

⑴　3

（和訳）サムは毎晩テレビを見たものだった。

⑵　1

（和訳）かつてその丘には城があった。

⑶　2

（和訳）斉藤教授はかつて化学技師であったが，今は医師である。

⑷　(a)×，1　　(b)×，1

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

■第５講　解答

⑴　4　　⑵　3　　⑶　3　　⑷　1　　⑸　2

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。